

# たぐすい

TAKUSUI

8

2006年 August

No.598



**TOPICS** 但馬5漁港が合併仮契約調印

**ウチの漁協!** JF伊保

# CONTENTS

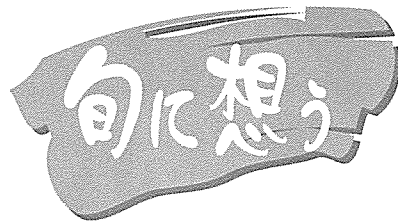
- 2 旬に想う  
字典・辞典・事典  
表紙の言葉
- 3 フリースペースour hour  
・漁家経営指導・支援体制の導入について  
・兵庫県信用漁業協同組合連合会  
代表理事会長に秋武宏氏就任
- 4 NEWS  
・平成18年度兵庫県漁業協同組合長懇談会  
・豊漁祈願祭
- 5 TOPICS  
part1 但馬5漁協が合併仮契約調印  
part2 JF兵庫漁連代表理事会長 丸一芳訓氏 黄綬褒章受章
- 6 REPORT  
中核的漁業者視察報告 その2
- 7 新組合長を紹介します
- 8 NEWS  
・全国JF共済担当者研修会  
・平成18年事業所・企業統計調査
- 9 大輪田塾だより
- 10 兵庫JCC通信
- 11 行事予定  
兵庫海の子作品 募集
- 12 ウチの漁協  
JF伊保

## 表紙の言葉



— 長浜城 —

「山内一豊と千代」功名の足がかりとなった「長浜城」。今、NHK大河ドラマで一躍脚光を浴びている。「天下布武」を掲げ、天下統一を目指す「織田信長」。その家臣として仕えた秀吉とともに戦国の世を駆け抜け、只ひたすら功名のために邁進。その陰には、いつも「千代」の言葉が「旦那様 生きて帰ることがこれ功名ですよ」。新緑につつまれし長浜城を見上げ、往時に思いを馳せつつ記念撮影。



写真と文 遊方子



## 字典・辞典・事典

◆小野の小学校で懐かしい銅像を見つけた。柴を背負い読書する姿が、教育の模範として学校の目立つ位置に建てられていたが、今は滅多に見られない。唱歌で習う「二宮金次郎」の歌詞に「柴刈り縄ない草鞋(わらしじ)をつくり…」とある。柴刈りも縄も草鞋も全て過去のモノとなり、人物についても何を成した人が忘れていく。事典を繰ると、江戸末期の篤農家で相模の人、苦学する姿を学習勉勵の标本と見たとあり、天保の大飢饉で多くの難民を救った実績もある。かつて老円札の肖像になった。豊岡市の史料では、円山川治水対策にも意見を述べたと判明している。この日、夏休みで人影無く、蟬の音がしきりだった。事典を初めて手にしたのは、何時だったかと思いついている。

◆明治新政府の成立で、次々に出る「お達し」や、新しく登場した新聞に載る「新漢語」を解説するため、色んな字引が作られた。庶民向けの「簡易字引」や「新聞字引」が巷に溢れ、絵草紙風な「英語字引」もあった。昭和初期には新語を集めた「新時代の尖端語辞典」が編まれた。今に続く『現代用語辞典』の走りである。およそ辞書は、その語釈への配慮の在り方で評価が決まる。日本語を理解するうえで、一つの項目がどう解説されるかで、受け取り方にも大きな開きを得られるものが望ましいが、項目が少なく満足感が無い

し、項目が多いと分厚くなって扱い難い。編集者は何をどれだけ掲載すべきかで頭が痛い事だろう。

◆『辞典』には、その時代に必要な言葉が編集されているが、時の流れで消えて仕舞う言葉もずいぶん多い。古い辞典は、過ぎ去り忘れられた言葉が一杯に詰まったタイムカプセルであり、言葉の博物館なのである。『事典』を購う場合。私流ではアマモの別名「リユグウノオトヒメ」ノモトユイノキリハズシ」が載っているかを見る。この長い名前前の解説が有ればまず安心。人物では「手塚治虫」を調べる。この二項目の有無を、善し悪し判断の目安とする。そのメカネに適い「ブリタニカ国際大百科事典」を購入した。高価過ぎて不相応な買い物と思ったが、使ってみると随分と当たり勝手がいい。

◆百科事典類は、知的な装飾品としても使われる。しかし、辞書類は機に依りて利用してこそ値打ちを発揮する。何かあれば、直ぐに辞典や百科事典を検索する。子供に「勉強しなさい」と小言をいうよりも、字典を引く、パパやママの姿を子供に見せることが、遙かに効果的な家庭教育だと思っている。子供には年齢に相応しい事典を身近に置いて、問題の解決に当たらせる。パパが教えるのは、手掛かりだけで良い。少し回り道になるが、決して無駄にはならないと思うのである。

## 漁家経営指導・支援体制の導入について

JF 兵庫信漁連

JFマリンバンク兵庫は、漁業経営にとって系統組織が果たす役割が極めて重要である事を再認識し、漁協及び系統諸団体と強い連携のもと、個々の漁業者の実態に応じた漁家経営指導・支援機能が発揮できるよう次のとおり体制を整備いたしました。



### 対象者

漁家経営指導・支援の相談を受けられる事ができるのは、次の方々です。

- (1) 新規漁業着業者
- (2) 経営改善計画策定が必要な漁業者
- (3) 所属漁協長が推薦若しくは必要と認めた漁業者
- (4) その他信漁連会長が必要と認めた漁業者又は関係団体

### 経営指導・支援内容

漁家経営指導・支援内容は次のとおり。

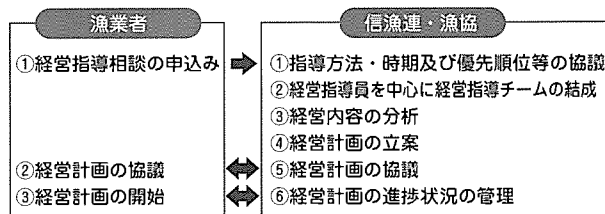
- (1) 経営内容の分析
- (2) 経営計画の立案
- (3) 経営計画の進捗状況の管理

### 体制

経営指導・支援の体制は次のとおり。

- (1) 経営指導・支援については、信漁連会長が任命する経営指導員(信漁連職員)が中心となってチーム編成により行います。
- (2) チーム要員については、必要に応じ所属漁協長及び参事・基金協会役職員・担当支店長及び本店職員より信漁連会長が委嘱する。
- (3) 経営指導員には、信漁連会長より平成18年7月10日に山田 峰人(専務理事)、里 昭彦(参事)、藤次 吉郎(総務部長)、宮崎 二郎(審査部長)、黒田 俊文(営業部長)が任命されました。

### 経営指導・支援の流れ



### その他

現在、但馬地区をモデル地区として沖合底曳網漁業者を対象に経営相談を実施中。ご不明な点、ご質問等ございましたら本店営業部までご照会ください。

## 兵庫県信用漁業協同組合連合会 代表理事会長に秋武宏氏就任

平成18年6月22日(木) 通常総会が開催され、秋武宏氏が代表理事会長に就任されました。

秋武会長は、「信漁連会長の大役を受け、身の引き締まる思いであります。私に課せられたものは、『漁業者の幸せの実現』を推進するために、信漁連は安定した事業運営を継続的に展開し、強力な経営基盤を構築することだと考えています。」

「信漁連は、『浜の金融機関』としての業務を堅実にやり、浜の活性化及び漁村の活性化に寄与・貢献する信用事業を展開することが肝要と考えています。地域の経済活動が盛んになれば、信漁連も更に安全で安心できる経済組織になるものと思います。」

「本日、ご出席の会員の皆様方、丸一県漁連会長をはじめといたします系統団体の役職員の方々、行政関係の方々のご支援ご協力をお願い申し上げます」と就任のご挨拶をされました。



## 平成18年度兵庫県漁業協同組合長懇談会

平成18年度(第21回)組合長懇談会が平成18年7月28日(金)ホテルニューアワジ コンベンションホール「シーサイド」において県下漁協の組合長をはじめ、行政・漁協系統団体役員等 約80名が出席して開催されました。

主催者を代表して、丸一芳訓兵庫県漁連会長よりのりの方、輸入問題、燃油の高騰等漁業経営が厳しい中、漁協を代表する組合長が強いリーダーシップを持ち組織・経営改革を図ることが重要である。

但馬地区で大きな団結が行われたが、この団結は経済事業改革への設立に向けた大きな弾みとなった。

本日各浜のリーダーが一堂に会し、懇談を通じて、信頼と相互理解を深めることは大いに意義がある。

明日の豊漁祈願祭は、日本書紀より、国土と神々の生成を終えた伊弉諾大神が、淡路島に幽宮(かくりのみや)を建てて鎮まったと伝わる伊弉諾神宮において、永遠の豊漁・漁業操業の安全を祈念し、かけがえない海を守り育て、漁村の歴史、文化を次代に残すことを誓い実施するものであり、どうか本日は、有意義な一日となりま



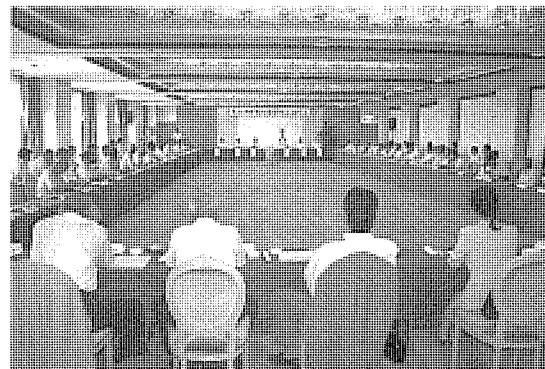
すよう、心から願うものである旨開会の挨拶がありました。引き続き、兵庫県洲本農林水産振興事務所柘田所長様よりご来賓のご挨拶を頂戴しました。

その後、若い漁業者やその家族、漁協役員が将来の漁業について考える姿を描く、JFグループ職員による寸劇「JF合併は誰のため」を上演、参加組合長からも、わかりやすい内容であった旨高い評価を受けました。

引き続き、組織検討部会の委員による、公開協議の中での意見交換会形式による概要説明、意見交換会が行われ、現在協議が行われている、経済事業改革JFの設立推進に向けた協議内容について報告がなされました。

この中、秋武信漁連会長を座長として、経済事業改革JFの設立に向けた意見交換会において、参加組合長より活発な意見が出され、組織改革に向けた各組合長の積極的な姿勢が印象的でした。

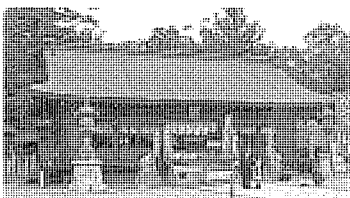
また、去る7月26日に挙行された但馬地区5漁協による合併仮契約調印について村瀬副会長より報告、引き続き、共通役員制における役員選出要領の改正について戸田専務より報告がなされ、盛会裏の内に組合長懇談会は閉会しました。



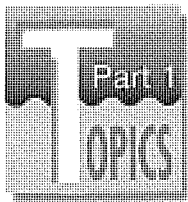
## 豊漁祈願祭

前日の組合長懇談会に引き続き、翌平成18年7月29日(土)10時より淡路市多賀「伊弉諾神宮」において、第32回豊漁祈願祭が、県内漁業協同組合長、行政・漁協系統関係者約60名の参加の下、厳かに挙行されました。宮司祝詞奏上に続き、主催者 丸一県漁連会長より兵庫県下の漁業発展と海上安全に更なるご加護を賜りますよう祭詞を奉り、各代表者による玉串奉奠が行われ、荘厳な趣のなか神事が執り行われました。

神事に引き続き、丸一会長よりの主催者挨拶、兵庫県農林水産局小池局長より来賓祝辞が行われ、参加者が永久の豊漁と安全操業を心より願う閉式となりました。



上：豊漁祈願祭の様子  
左：伊弉諾神宮

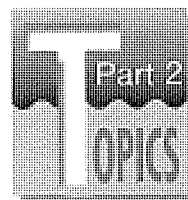


## 但馬5漁協が合併仮契約調印

津居山港、竹野浜、柴山港、香住町、浜坂町の但馬5漁協の合併仮契約調印式が7月26日、香美町香住区の国民宿舎ファミリーイン今子浦で開催されました。

調印式には各漁協の組合長をはじめ関係自治体の首長、兵庫県漁連会長等が出席しました。今後、各漁協での総会議決を経て来年4月に新組合「但馬漁業協同組合」の設立を目指します。合併後は組合員数約2400人、販売取扱高は約91億円となり県内最大の漁協となります。

「県下1漁協」という構想が着実に進む中、但馬地区の漁業発展のため大いに期待されています。



JF兵庫漁連代表理事会長 丸一 芳訓氏

## 黄綬褒章受章

平成18年5月17日、「平成18年度黄綬褒章伝達式」が東京で行われ、兵庫県漁業協同組合連合会代表理事会長 丸一芳訓氏が黄綬褒章の榮に浴されました。

氏は平成3年2月に育波浦漁業協同組合の理事、平成9年11月に同組合の代表理事組合長に就任、そして、平成16年6月に兵庫県漁業協同組合連合会代表理事会長に就任されました。この間、持ち前の責任感と行動力で瀬戸内海・日本海の様々な課題に立ち向かわれました。そして、現在も「県下漁業者の幸せのために」を心に秘めながら、漁協組織の大同団結を目指し「県下1漁協構想の実現」を政策目標に掲げ、不退転の決意で会員等と積極的な対話を重ねられその熱意が浜に伝播しつつあります。

この度、このような卓越した指導力、統率力、果敢な行動力、また、強い責任感により漁協系統並びに地域の指導者として高く評価され、黄綬褒章の榮に浴されました。

なお、7月19日、ポートピアホテル(神戸市)にて丸一芳訓氏黄綬褒章受賞祝賀会が開催され、約300名の参加者でその榮譽を祝いました。



# 中核的漁業者視察報告 その2

育波浦漁業協同組合、片山守さんからのニュージーランド漁業視察レポートの第2弾です。

## オークランド

1月11日から1月14日

クライストチャーチを1月11日午前9時に出発し、オークランドに午前11時に着きました。その後、そのまま市内のフィッシュマーケット等を調査しました。基本的にはクライストチャーチと変わらない感じでしたが、オークランドには日本人の住民も多く、「フシバー」と呼ばれる日本のおすし屋も数多く軒を連ねていました。この「フシバー」はメインはスシですが、ここも鮮魚の販売しており、今ニュージーランドでは結構人気があるそうです。

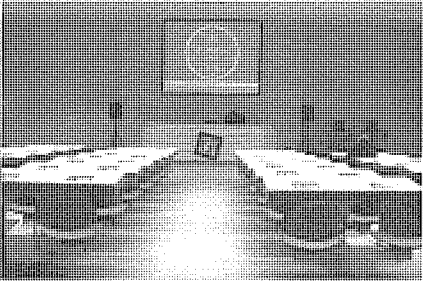


次の日の朝6時より市場へ行き、実際のセリ（オークションと呼ばれる）を見学しました。セリの会場には商品を陳列する部屋と、入札する部屋があり、日本のそれとは、非常にかけ離れた状況を目の当たりにしました。

セリの流れは、まず、商人が、商品が陳列された部屋で品定めします。この部屋では商品は整然と並べられており、種類、大きさ、品質等で分類されています。室温が1〜2℃に設定されているにも関わらず、魚に氷をのせていますが、これは乾燥を防ぐため水分補給になっているということです。

その後、魚を見た商人は入札する部屋（オークションルーム）に行きそこで入札をします。ここは会議室のような造りで、日本のセリの様子とは全く違います。商人はそれぞれテーブルに座り、テーブル上の操作ボタンを用い入札していきます。教室型に並べられたテーブルの前のスクリーンには時計に似た画面が映し出され、これを見ながら商人は入札していくシステムだそうです。

ベルギーで考えられたコンピューターソフトが使われているそうです。



これはオランダの花のオークションでいち早く使われていたシステムだそうです。私たちの入札は短時間で高品質の商品を揃くことが求められています。我が国の浜で使えるかは別として非常に参考になりました。

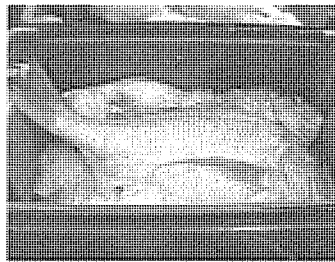
売られる魚種はタイ、カワハギ、アジ、イカ等日本で見られる物と大きく変わりありませんが、今のシーズンはタイが最も人気があるとのことでした。

その「タイ」ですが、入札のメインです。最後に入札することでした。これは、人気の商品を最後まで残すことで、商人に最後まで居させるための方策であるとのことでした。タイは、当日、1あたり800位で競り落とされていました。

オークションは市場のマネージャーが価格設定を行い、それからスタートします。商人は本名ではなくコードナンバー（仮名）で入札するという方法を用いています。そのコードナンバーは日によってかえても良いということですが、入札価格と業者がわかると、以降の入札で魚の価格が下がる可能性があるとのことでした。商人（入札業者）は「フィッシュ&チップス」や「レストラン」、魚屋、卸専門業者などが多数います。小規模な業者は現金で払い、大きな業者は次の日小切手で支払うそうです。入札に参加するためには、信用できる銀行により証明されたサインや書類が必要です。月曜から金曜までは中華調理屋の卸業者がよく来ています。ここでも世界中どこにでもあつておるべき「ナイバワー」を感じました。

オークション会場では魚種によっては数量制限があるものもあり、出品された商品10箱のうち業者の箱までしか競り落とせないというところもあります。なお、この売り上げの1割が市場の儲けになっているそうです。

オークションシステム等で、日本とは全く違う近代的な物を見ることができ、たくさん勉強になった市場見学



でした。

その後、近くの漁港で漁船から直接魚の荷揚げを見ました。大型船は出港中に見られませんが、小型船は日本と変わらない荷揚げをしていました。活魚に関しては船で直接買つということでした。また、船内冷凍をして直接外国へ輸出する方法もあるそうですが、近年ドルが上がり、輸出収入は減少傾向にあるとのことでした。

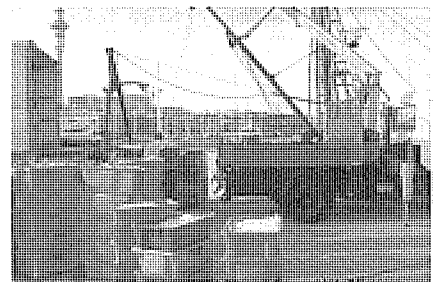
この後、オークランドにある「ニュージーランド漁業組合」の代表である「ピーターマッキンソン氏」とお会いし、現状を意見交換することが出来ました。

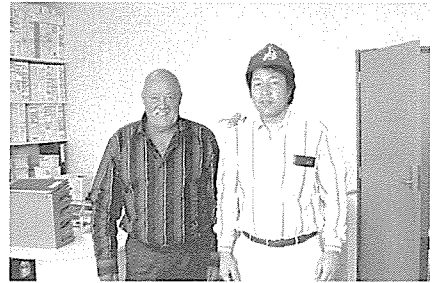
組合の概要をお聞きすると、経営は横ばい状態ですが、組合員の収入自体はサラリーマンの平均より多いそうです。ここも昔より漁業従事者が少なくなってきたことで、後継者不足も問題になってきているようです。この国では組合員にならなくても漁業はできますが、年間3000\$を払えば組合員になれますが、所属する会社がその内50\$を負担してくれるそうです。また、組合が組合員に保険をかけてくれるそうですが、近年経費面で費用が高騰し保険制度を検討中とのことでした。しかし、船長エンジニア、船員の内、1/3しか組合員になっておらず、だいたい60歳くらいで船をおりるそうです。

さらに、この組合は、日本という水産大臣と直接交渉できたり、加工組合、食品組合ともいろいろの問題について直接協議をしていけるそうです。縦型社会の日本とは全く違う組織に驚かされました。

一方、この国の漁業者ですが、船に乗り込む船員の中の甲板員にもランクがあり、国家試験の講習を受けることにより働けるエリアが沿岸から回内（カ）が決まっているそうです。講習6ヶ月コースで7000〜8000\$かかるそうですが、船員になるためにこの講習は絶対に受けなければなりません。講習には年齢条件があり16歳以上が条件の一つです。しかし、この中から「フックテスト」で80パーセントが落ちるといふことで、これも船員難の原因の一つかもしれません。

漁船には、小さな船で6人、大きな船で44名もの船員が





乗り込むそうですが、小さい船ほどより優れた甲板員が必要なので人選を大事にしなければならぬとのことでした。大きな船は役割分担ができるので能力による人選はあまり必要ないそうです。今まではインドネシアの方をたくさん雇っていたそうですが、国の方針で地元の若い人に働いてもらえるよう船員に支払う給料を上げたそうです。さらに、資源についてお

話をお伺いしました。1986年に、魚が減った訳ではないのですが、政府が環境保全のため漁獲量制限を行いました。例えば「ホキ」という魚は年間漁獲量220tから100tに制限されました。これにより魚価は安定しましたが、総収入は減り漁船数も16隻から7隻に減りました。それに、大型船で45フィート以上の漁船は12マイルより沖での操業という規則もでき、資源は保護されているが水揚げ高は減りつつあるという問題を解決していかなければならないそうです。

これからのニュージランド漁協は、今までの「ユニオン」から「ギルト（職業別の組合）」という誰でも入りやすくするイメージにしていく必要があるとも言っていました。今まではヒーターさんが一番悩まされた問題はという質問をしたら、船員の給料面での交渉だったそうです。色々規則があるなかで、船員により高い給料を払えるようにしたい事は日本にも当てはまることかと感じました。

最後に数日間の視察ではございましたが、色んな面で新しいものを観させていただきました。今後は「私」の漁業だけではなく、「私達」の漁業に活かしていきたいと思っております。

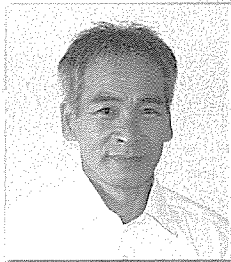


# 新組合長を紹介します

(敬称略)



江井ヶ島漁業協同組合  
橋本 幹也



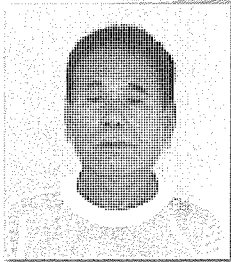
東二見漁業協同組合  
岸 利夫



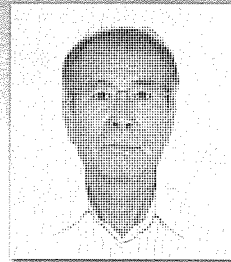
西二見漁業協同組合  
山本 章等



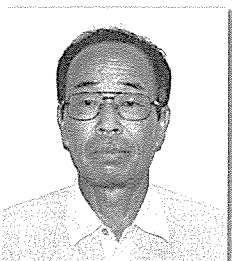
播磨町漁業協同組合  
藤原 正照



志筑浦漁業協同組合  
井村 春夫



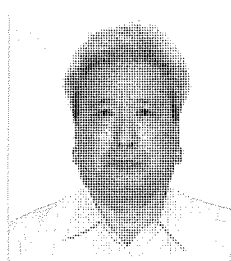
釜口漁業協同組合  
松下 敏信



淡路町漁業協同組合  
吉田 證平



五色町漁業協同組合  
福岡 武雄



香住水産加工業協同組合  
里村 克

## 全国JF共済担当者研修会

JF共水連は7月12日、東京・文京区の東京ドームホテル「天空」にて「全国JF共済担当者研修会」を開催しました。今後のJF共済の推進と活動の活性化に向けて今年度から始めたもので、北海道から九州まで300人を超える共済担当職員が一堂に会し、実践報告発表などを通じて意識の高揚と連帯感を高めることができました。なお、兵庫県からは、明石浦・林崎・岩見・丸山・阿那賀・津居山港・柴山港・香住町・浜坂町・香住水産加工の10組合の、共済をご担当されている皆様にご出席頂きました。

大変お忙しいところ遠路よりお越し下さり、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



## 平成18年 事業所・企業統計調査

10月1日、平成18年事業所・企業統計調査が全国一斉に行われます。

調査の結果は、国、都道府県、市区町村がこれからの地域開発や都市計画など私たちの生活をより良くするために必要な基礎資料となります。9月下旬から調査員が各事業所へ調査票をお届けいたしますので、必ずお受け取りになってもらってご記入ください。調査票を配布・回収する調査員は「調査員証」を携帯していますので、安心してご協力をお願いします。

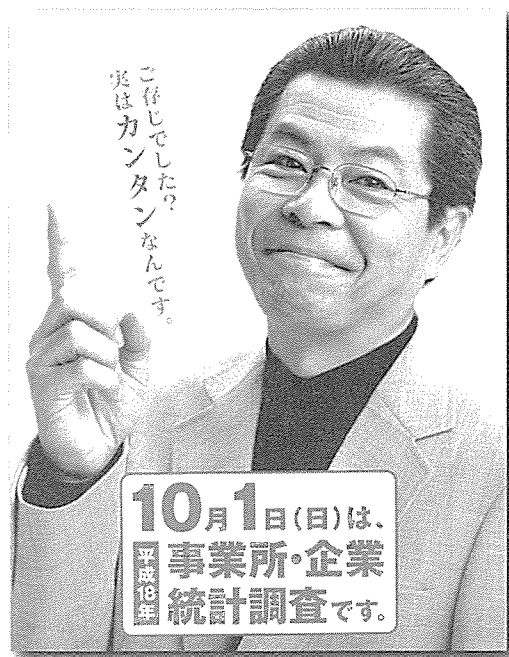


会社も、お店も、学校も、病院も。  
**事業所・企業  
統計調査**

7月～10月 携帯電話の期間限定サイトオープン!  
「統計調査!なるほどなっとく!!」

i-mode EZweb Vodafone live対応

[www.toukeichousa.com](http://www.toukeichousa.com)



カンタン案内人 立川 志の輔



忙しく働く方々のことを考えて、調査は分かりやすくカンタン。  
日本の未来のために、大切な調査へのご協力をお願いします。

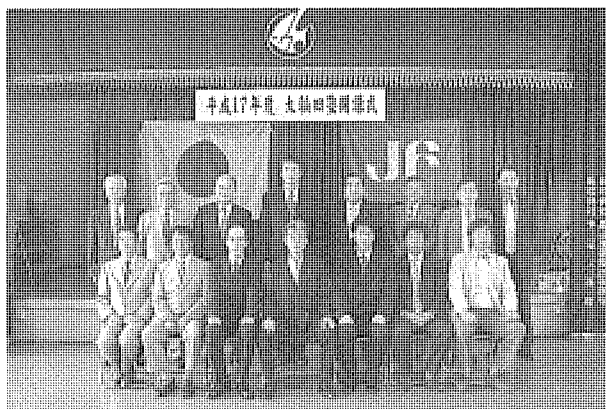
**総務省統計局**  
都道府県・市区町村  
<http://www.stat.go.jp>



# 大輪田塾だより

**その1** 間もなく開講1年を迎える「大輪田塾」。塾生は、月1回のペースで、各分野から様々な講師を迎え講座が開かれています。講座はその時々テーマについての講習を受けた後、講師を交えた討論を中心に進められています。6名の塾生は県下水産業を先導できるよう、様々な知識の習得に励んでいます。8月現在、卒業に向けて、受講と平行して、修了論文の作成に取りかかっています。

8月の予定	海洋環境（海況解析と環境予察） 気象（漁業への気象情報の利用） 海区委員会傍聴	他
9月の予定 （調整中）	漁船保険（漁船保険の概要） 漁業共済（漁業共済の概要）	



**その2**

## 第2期生を募集いたします。

詳しい募集要領は各組合宛に通知しました。  
第2期生は9月下旬に募集の締め切りがあり、その後、面接試験、審査委員会での選考を経て、10月上旬に入塾式を行います。



8月の受講風景

### 現在までの講座

	講座名	内容	講師
主催講座	沿岸漁業	アジアの活魚・漁	田和教授（関学大）
	水協法概要	漁協組織の一般的な内容	藤澤組合指導係長（水産課）
	漁業概要	国・県・地域漁業の概要	楠本課長（水産課）
	漁業法概要	漁業権等の一般的な内容	岡村漁政係長（水産課）
	漁船法概要	漁船登録・許可等の内容	大石主査（水産課）
	環境保全・水産資源	「未来につながる豊かな海の再生のために」を解説	反田部長（水技センター）
	漁業経営	系統金融	山田専務（信漁連）
	流通消費	食品流通・消費の現況	小池局長（農林水産部）
	美しい兵庫（新たな県政）	県の予算説明	荒木局長（農林水産部）
	養殖業	安定生産の技術・方法	前田組合長（JF 赤穂市）
	石油流通	石油販売の現況	突々専事（県漁連）
	漁業時事	漁業への新規参入の考え方	秋武専務（振興基金）
	漁業監査士	監査士の活動	笹倉室長（県漁連）
	水産加工	水産加工技術の概要	森主任研究員（但馬水技センター）
	水産物の輸出	水産物の鮮魚・加工品の輸出体制	福田主幹、渡邊主査（農政企画局総合農政課）
	漁協合併	漁業者の幸せの実現のために	藤澤部長（振興基金）
認証講座	沿岸漁業	シンポジウム「漁業と環境問題～持続的利用は可能か」	中前次長（水産庁） 国府所長（瀬戸調）
	水産資源保護演習	反漁業キャンペーンの論理	秋武専務（振興基金）
	地域漁業	地域漁業に関する発表	田和教授（関学大） 他
	資源の共同利用	閉鎖性水域における資源の共同利用	日高教授（近畿大） 他
	JF役員研修会	漁協の組織・経営	市村隆紀（全漁連） 足田文明（元気塾）
	瀬戸内海の再生	瀬戸内海の再生に向けた包括的アプローチ	松田教授（広島大） 他
	所得税・消費税	所得税・消費税の知識習得	梶本税理士
その他	県内宿泊研修	"兵庫県ブランド商品について（但馬牛、酒米、釣り針、カキ、ズワイガニ）"	県立農林水産技術総合センター他

## JAみのりの支店跡を市民ミュージアムに

支店再編で閉店した、JAみのり下鴨川支店が、市民ミュージアム「コミュニティギャラリーかもがわ」として7月23日にオープンした。児童や地域住民の作品、50年間使われた金庫などJAの備品を展示し、地域住民が集えるサロンに生まれ変わった。

同支店は昭和30年に建造、平成16年に営業を終えた。老朽化のため建物を取り壊す案も出たが、地元・加東市立鴨川小学校の廣畑貞一校長が「長く親しまれた場所を失うのは地域の損失」と提言。廣畑校長が中心となり、JAや地域住民らで準備委員会を設置、市民ミュージアムを開設することになった。

ミュージアムは、木造2階建てで総面積約100平方メートル。外見は当初の雰囲気を残したまま、内部は吹きぬげに改築。改築費用や維持費は、JAや行政などが負担した。

準備委員の1人でもあるJAみのり・津瀬秀一総務部長は「JAの支店としての役目は終わったが、建物は今後も地域文化発信の拠点として愛着を持っていただけることがうれしい。今後もこの建物を通して地域とつながってきたい」と話している。



市民ミュージアムの開設に向けて改装中のJA支店跡

<http://www.zenchu-ja.org/>

県内各地でピースアクション2006の  
取組みを開催しています

今年も全国の生協でピースアクション2006の取組みが行われています。

兵庫県内の生協では、コープこうべが各地域で「平和のつどい」を開催、命の尊さをテーマにした講演会や、CODE・PHD協会、ユニセフなどが行っている国際支援活動の紹介のほか、「沖縄平和虹っ子スタディツアー」に参加した子どもたちの感想報告や、映画会、少年少女合唱団によるミニコンサートなどを開催し、未来を担う子どもたちへ平和の大切さを訴えています。

また、阪神医療生協、ろっこう医療生協では、それぞれの地域で「平和行進」を開催しました。太陽が照りつける中、一歩、一歩、平和の大切さを訴えながら行進し、地域組合員をはじめ、沿道の人たちに、核兵器廃絶と平和の尊さを訴えながら行進しました。

今年は、会員生協それぞれの取組みと合わせて、兵庫県生協連では、「ピースアクション2006 ひょうご夏まつり」を企画しています。模擬店やステージ企画として銭太鼓、ハワイアン踊り、草笛&オカリナ、フォークソングの演奏、沖縄・広島の報告、「イラクの子どもたち」の絵画や「市民が描いた原爆」の絵の展示のほか、無料健康チェックを実施、会員生協とともに平和の大切さを訴えていきます。

ピースアクション2006  
ひょうご夏まつり

■開催日時：  
8月19日(土)  
16時～19時

■開催場所：  
コープこうべ生活文化センター  
館内ロビー・中庭



<http://www.co-op.or.jp/jccu/>

夏、  
安心快適!

超・最強バッテリー

VICTORY FORCE PREMIUMキャンペーン!!

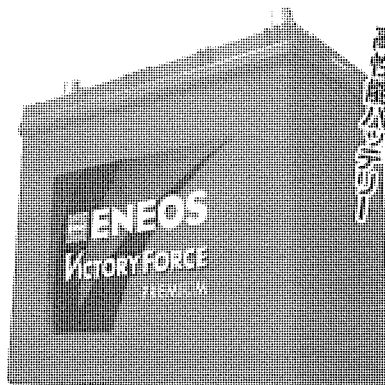


エアコンはたくさんの電気を消費します。  
余裕のパワーでいつも安心!  
ENEOSの高性能バッテリー。

さらに **長寿命**      さらに **高始動**      さらに **大容量**

専用ドクターバッテリーテスターで  
夏のバッテリーいつでも

**無料点検実施中!**

交換するなら  
エネオスの  
高性能バッテリー

9月末まで!

- ハートフル飾磨  
Tel 0792-33-0800
- 西飾磨SS  
Tel 0792-34-1988
- ハートフル大久保  
Tel 078-935-8222
- 淡路仮屋SS  
Tel 0799-74-2650



# 行事予定

<変更になる場合があります>

JF兵庫漁連		
8月	14日(月)	夏期休暇集中取得期間
	15日(火)	夏期休暇集中取得期間
	16日(水)	夏期休暇集中取得期間
	28日(月)	13:00～ 定例理事会(予定)
9月	20日(水)	16:00～ 全漁連経営改善委員会
	21日(木)	13:30～ 全漁連理事会
	28日(木)	定例理事会予定

内海漁保		
8月	14日(月)	盆休み
	22日(火) 24日(木)	役員・総代研修会・ 海上安全祈願祭 (鹿兒島神宮)

兵庫県		
8月	11日(金)	16:00～ 県選出国会議員「環境再生」 勉強会(県公館)
	17日(木)	10:30～ 常任委員会
	22日(火)	13:00～ 水産技術センター研究発表会
		13:00～ 但馬海区漁調委 (但馬漁業センター)
31日(木)	14:00～ 瀬戸内海海区漁調委(未定)	

JFぎよさい兵庫		
8月	14日(月)	盆休み
	15日(火)	盆休み

JF兵庫信漁連		
8月	22日(火)	13:30～ 内水面漁場管理委員会(会長)
	25日(金)	13:00～ 定例理事会(予定)

漁港協会		
8月	29日(火) 30日(水)	14:00～ 第55回通常総会・ 県漁港大会 (有馬兵衛向陽閣)

その他		
8月	10日(木)	14:00～ 漁協指導担当者会議 (農林水産省)
	18日(金)	15:00～ 淡路水交会理事会(淡路水 産センター)
	22日(火)	13:00～ 第2回総合政策部会専門 委員会(コープビル)
9月	5日(火)	18:30～ 新生兵庫講演会 (神戸国際会館)

JF共水連兵庫		
8月	14日(月)	夏期休暇(盆休)
	15日(火)	夏期休暇(盆休)

振興基金		
8月	14日(月) 16日(水)	盆休み
	28日(月)	11:00～ 理事会

ひょうご  
**海の子作品**

応募締め切り日  
平成18年9月30日(土)

絵画・作文

県下の小・中学生の皆さんに海を愛し、美しく豊かな海を守る事の大切さや漁業に対する関心と理解を高めてもらうため、『絵画』と『作文』を募集しています。

あなたの目から見た、漁業や漁師さんの事、漁港や市場の様子、そして海の様子など、「漁業」や「海」を自由な発想で表現してみませんか？

たくさんのご応募をお待ちしています。

**応募方法**

**募集対象** 県下の小中学生

**募集作品** 絵画と作文の二部門  
(絵画)作品の大きさは60cm×45cm以内  
(作文)400字詰原稿用紙2～3枚  
本人の直筆でない作品については、審査対象外としますのでご注意ください。

**題材** 「漁業」や「海」

**作品の提出先** 作品は、通っている学校に提出してください。  
・作品の裏面右下に、必ず、応募票を張ってください。  
・作品はこれまでどこにも応募していないもので、各部門一人一点まで応募可能です。  
・応募作品はお返しいたしません。  
(応募作品の著作権はすべて主催者側に帰属するものとします。)

**応募方法**

☆兵庫県知事賞  
全作品の中より1点

☆兵庫県教育長賞  
同上

☆JF兵庫漁連会長賞  
小学校低学年・小学校高学年  
・中学校より各1点ずつ計3点

☆JF兵庫女性連会長賞  
同上

☆JF兵庫信漁連会長賞  
全作品の中より2点

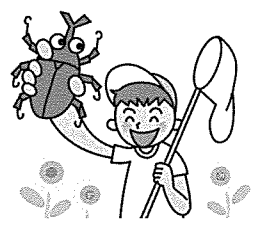
☆佳作  
全作品の中より20点(予定)

※各部門入賞作品については、年末に神戸市内に展示する予定です。 ※作文部門入賞作品については、「海の子作文集」を作成する予定です。  
※審査の結果は平成19年1月に各学校へお知らせします。

問い合わせ先 JF兵庫漁連(指導部) 〒652-0844 神戸市兵庫区中之島2-2-1 TEL (078) 652-3444 FAX (078) 671-6685  
【主催】JF兵庫漁連・JF女性連 【後援】兵庫県・兵庫県教育委員会・JF兵庫信漁連・(財)兵庫県水産振興基金

## 編集後記

夏休みになれば子供の頃は毎日カブトやゲンジ(くわがた)を採りに行ったものです。収穫は勿論のこと、ムカデやナメクジ、スズメバチ等がいると空気銃で撃退したり(笑)…。ハラハラ・ワクワク・ドキドキ、無我夢中で楽しい思い出です。最近、クヌギやニレの木の前に車がよく止まっています。父親あたりが子供を連れて採りに来ているのでしょうか。たぶん、童心にかえった大人が一番楽しいのでしょうか。



常に新しい漁業を目指して

# チャレンジ精神と団結力で切り開く漁業



No.40

JF伊保



姫路市と加古川市にはさまれた高砂市は、かつては漁業の盛んな地域のひとつでした。現在は、日本の高度経済成長とともに海岸線が埋め立てられ、工業地帯へと変貌を遂げており、かつての漁師町の面影はあまり残っていませんが、そのような時代の変化の中にありながら、昔から変わらぬ“漁師の心意気”を持っている組合こそ、今ご紹介する伊保漁業協同組合です。

伊保漁業協同組合では、底曳き網漁を中心に、春の船曳き網漁とノリ養殖を組み合わせて漁業を展開しています。獲る魚は季節によって変化し、春は船曳き網漁によるイカナゴ、夏はアナゴ、タコ、秋はカニ、エビ、カレイ、シャコ、冬はイダコ、メイタガレイと多種におよびます。かつては町の人口の半分近くが漁師だった時代もあるという、伊保町の長い漁業の歴史をさかのぼると、現在の漁法とは全く異なる「イカ漁」や「サワラ漁」が行なわれていた時代があるなど、海の状態、魚の状態に合わせて漁法を変化させ、その時代に一番適した方法を取り入れてきた組合の積極的な姿勢が浮かび上がってきます。そして、現在のように底曳き網漁が中心となってからも、組合で一致団結して新たなチャレンジを行うという姿勢に変化はありません。今となっては明石や淡路でも一般的に行われている底曳き網漁の漁法に、網の重りとしてチェーンを使う「ちんこぎ漁」がありますが、約30年前、この漁法を他の漁協に先駆けて取り入れたのは、この伊保漁協でした。やがて、その方法が近隣の漁協へも広がり、現在のように定着していったというわけです。

この他にも、伊保漁業協同組合が先駆けて行い、各地に広がっていったものがいくつかあります。例えば、昔の漁船は、中央にあるローラーの近くで道具の巻上げを行う形になっていたため、道具の巻き上げ中に事故が多発していました。そこで伊

保漁協では、道具の巻上げを船尾で行う漁船へといち早く切り替え、漁業の効率化、また、漁師の安全に非常に大きな役割を果たすことになりました。また約35年前、出漁時間を制限し、定休日を決めて資源の獲り過ぎを防ぐ「管理型漁業」を最初に取り入れたのも、ここ伊保と隣の高砂漁協だったと言います。このように、時代の先を見越し、新たなものに挑戦しようという積極性と、それを協力してやり遂げる組合員のチームワークがあったからこそ、時代という変化の波にも対応することができたのです。

さらに、47才までの若い組合員が所属する「水産研究会」では、定期的に会合を開くとともに、年に数回は研修会に参加するなど、新しい知識を今後の漁業に反映させるための活動を行っています。また婦人部では、「浜のかあちゃん加工場」を運営し、



アカシタのあめだきや焼きアナゴ、イカナゴのくぎ煮など、旬の魚の加工品を生産し、農協やイベントに出品する活動を展開中です。その活動内容は、全国大会で発表されたのをはじめ、他の多くの漁協からも視察に訪れるなど、最近兵庫県でも活発になってきた漁協の婦人部活動において、お手本的な存在となっています。

一級河川・加古川の水が流れ込み、栄養豊富で、石や砂などが多く、魚の育成環境としては最適であったかつての漁場は、その多くが埋め立てられ、漁業を営むものにとって決して恵まれた環境とは言えなくなりました。その中でも、よりよい漁業を目指して常に前進する姿勢が伊保漁協の宝であり、今後も受け継がれていく“漁師の心”のようです。



## <漁協メモ>

伊保漁業協同組合  
代表理事組合長 早川 正一  
組合設立日：昭和24年10月17日  
組合員数：正組合員69名、准組合員2名/計71名  
漁獲数量：686トン



拓 8 August

JF 発行人 兵庫県漁業協同組合連合会 発行所 兵庫県漁業協同組合連合会 (財)兵庫県水産振興基金  
〒652-0844 神戸市兵庫区中之島2-2-1 TEL 078-652-3444 FAX 078-671-6685

URL <http://www.jf-net.ne.jp/hgggyoren/>